

## 令和4年度要員計画について議論

4月20日、名古屋地本は、「令和4年度要員計画について」業務委員会を開催しました。今年度は新たなシステム化・省力化等はなく、昨年度説明された輸送システム取り替えに伴う名古屋運輸区業務執行体制変更を行うことが明らかになりました。

### 〔会社の主な説明内容〕

- ・ 令和4年度初必要要員数は4,450人
- ・ 令和4年度社員数は5,810人

上記以外に出向計画、採用実績、退職実績、専任社員数、乗務員養成、駅異動数などが説明されました。詳細は別紙資料を参照してください。

### 必要人員について

組合: 要員数を満たしているが運輸区では要員不足の感がある。年齢的に出産・育児休暇を取る社員の比率が高いと認識する。駅要員は必要人員より社員数が300多い何故なのか。

会社: 乗務員勤務ができない産前・産休社員を含めている。

組合: 職名変更の基準はあるのか。

会社: 個々で判断している。妊婦は乗務労働させられない。

組合: 運輸区では昨年度多くの年休が失効したと聞いている。把握しているのか。

会社: 失効した社員はいると聞いている。

組合: 昨年、夏以降にワンステップ活動が超勤対応でなく日勤指定されたことが大きな要因だと認識する。

会社: 必要な業務はしてもらおう。

組合: 昨年度の年休消化の実績を示せ。

会社: 現業運輸で一人平均19日・非現業15日・全体では18日であった。

組合: 休日出勤の実績とR4年度の予定はあるのか。

会社: 実績は1人1～2泊程度であった。R4年度も1人1～2泊程度を予定している。

組合:コロナ禍の中、陽性者・濃厚接触者が出て1～2泊で済んだのか。

会社:そうである。

組合:軽微なミスに対する日勤指定が減ったのか。

会社:必要な教育はする。

組合:休日出勤0に向けて努力はするのか。

会社:努力する。

### 出向計画について

組合:昨年の出向者数は何人なのか。

会社:30人予定通りであった。

組合:系統別の内訳はどうなっているのか。

会社:内訳は明らかにしない。専任社員も含まれている。

組合:医適等で乗務できなくなった専任社員の出向以外にも出向はあるのか。

会社:基本は現職だが一概には言えない。状況等は勘案する。

組合:体力的に困難な場合は専任解除ではなく他職もあるということだな。

### 採用実績について

組合:勤務箇所が少ない長野県・三重県からの採用者が減っているのではないのか。

会社:地域ではなく、人物で採用している。

組合:飯田支店・三重支店があったときは支店採用枠があった。

会社:全体的に大学進学者が多く高卒採用は難しくなっている。総合的に判断している。

組合:飯田地区は駅員配置駅が2駅しかない。伊那松島運輸区はCTSが無いので車掌養成ができない。他区からの転勤で補っている。改善しなければ就職希望者も増えない。転勤による退職者が発生する問題は解決はできない。

会社:必ずしも地元志向の方ばかりではない。

組合:将来希望が持てる施策を実施すること。

### 退職実績について

組合:退職者でその他退職57人は自己都合なのか。

会社:自己都合が多い。

組合:昨年度より16名増加している。

会社:特別に多いとは認識しない。他企業でもあることである。

組合:将来不安から右肩上がりで増加するのを危惧する。

会社: 不安がないように努力している。

組合: 総合職の社員も退職していると聞く。沈没する船から多くの社員が逃げ出す事態が起こらないようにしなければならない。

会社: そうならないように取り組んでいる。

### 乗務員養成について

組合: 乗務員養成でR3年度実績は何人なのか。

会社: 計画は運転士80人で実績は70人。車掌は110人で110人であった。ほぼ計画とおりである。

組合: 運転士養成で途中リタイアが発生している。理由は判っているのか。

会社: 理由は色々ある。

組合: 必要な要員確保を要求する。

### 駅異動について

組合: 駅異動の数が減少し続けている。駅業務効率化により受け入れ先が無くなっているのではないのか。行く先がないから40代・50代でも乗務している事態になる。制度が破綻している。

会社: 3職をしてもらおう。サイクルを重視している。

組合: 運輸区は仕事ができる中堅層を駅に出されて困惑している。

### その他議論

組合: CMC要員減により車検業務に時間を要している。入換作業等支障が出る。

会社: 他会社の事で言えないが、要員減だけが遅れの理由とは限らない。

組合: 出向希望者には関連会社の門戸を拡げること。

会社: この場で議論する内容ではない。

組合: 昔から厄年は体調等の異変が起こる年代で気を付けなければならないと言われてきた。事実そういうものである。還暦を迎えて低賃金で100%の業務は都合よすぎる。無策ではダメだ。

会社: 本社・本部間で議論されたい。

組合: 駅異動で乗務員復帰を希望する組合員が置き去りにされている。乗務員復帰させれば駅のポストが1箇所空く。実現すること。

以 上

## 令和4年度要員計画について

### 1. 令和4年度初要員数

	駅	運輸	車両	施設	電気	その他	出向	新採者	計
必要人員	920	1,620	420	470	410	620	—	—	4,450
社員数	1,230	1,760	520	500	460	710	550	80	5,810

※その他は非現業・防災センターを示す。

※社員数には専任社員を含み、出向受社員、契約社員を除く。

※数字は四捨五入のため、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合がある。

### 2. 令和4年度要員計画

#### (1) システム化・省力化等

輸送計画システム取替に伴う名古屋運輸区業務執行体制変更（既提示）

#### (2) 出向計画

54歳に達した日以降の出向 約50人

※上記以外の出向については必要に応じ個別に実施する。

#### (3) 採用実績、退職実績及び専任社員数

##### ① 採用実績

	高校卒				合計
	運輸	車両	施設	電気	
令和3年度	66	6	8	6	86
令和4年度	59	6	11	7	83

##### ② 令和3年度退職実績

定年退職 95人

その他退職 57人

##### ③ 専任社員数

令和3年度初専任社員数 645人（うち出向349人）

令和4年度初専任社員数 575人（うち出向311人）

(4) 乗務員養成等

・養成計画数

運転士 約70人

車掌 約100人

・駅異動

異動計画数 約25人

異動時期 令和5年2月(予定)

[参考] 社員年齢構成 (令和4年4月1日現在)

